

次号予告

特集 巨大プロジェクト

国際公共財としてのグローバル・ソフト・インフラストラクチャー
—資本主義を支える複式簿記システムを例として—

……高森 寛 (青山学院大学)

世界公共投資基金構想

……山元順雄 (日本GIF研究財団)

GIF的プロジェクトの研究事例—水資源関連プロジェクトを例として—

……松田道雄 (日本GIF研究財団)

論文・事例研究

バングラデッシュの洪水に関する微分方程式モデル

……山重裕之 (長銀システム開発),

柳井 浩 (慶応義塾大学)

ダム建設の最適位置と最適容量

……伊藤 弦 (日本電気), 柳井 浩 (慶応義塾大学)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	逆瀬川浩孝	早稲田大学
副委員長	山上 伸	東京ガス(株)
	山下勝比拡	(株)東芝
委員	伊藤 裕康	(株)富士通研究所
	上野 信行	住友金属工業(株)
	葛山 康典	早稲田大学
	國澤 直樹	東京電力(株)
	栗田 治	慶応義塾大学
	佐賀井重雄	(株)電力中央研究所
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話(株)
	中里 宗敬	青山学院大学
	西尾チヅル	筑波大学
	服部 正太	(株)構造計画研究所
	水野 眞治	統計数理研究所
	矢島 安敏	東京工業大学

編集後記●このところ、マスコミでのインターネット騒ぎは加熱気味だが、日本での各個人への浸透度はまだまだである。今の電話料金では各家庭で気軽に使える代物ではないし、画像情報の受信にも時間がかかりすぎる。一方、単純な文字情報の交換で済む電子メールはなかなかのものである●筆者は社内電子メールを使い始めて7年あまり、最近では1日に50通のメールを裁いている。中にはそれほど重要ではないメールもある。一部の口の悪い人はこれをメール公害と呼ぶ。とは言え、電子メールなしには仕事ができないほどになっている。自宅や国内/海外の出張先のホテルからもアクセスしているので、時間と場所に関してはボーダーレスな世界で仕事をしていると言える。就労時間がそのぶん増えたが、その一方、早めに帰って食事を済ませてから自宅で仕事の続きをすることができるし、週末にはわざわざ出勤しなくても自宅の静かな環境で集中して仕事ができる。健康のためにもいいし、時間に対する自由度はきわめて高くなった●昨今、孤独な老人が増えていると言われている。病院が社交の場になって、通院を楽しみな日課にしている老人もい

る。冗談だとは思いますが、この人たちの間では“誰々さんは今日病院に来ていないけれど、どこか悪いのかね”なんて会話も聞かれるそうである●30~50代の世代の多くの人がコンピュータに馴染み、ネットワーク上で意見や情報の交換ができるようになってきたし、今後その人口は高まる一方である。これから10年後、20年後の本格的なコンピュータネットワーク社会では、老人の多くが、それぞれの興味のあるフォーラムで情報交換して、楽しい時間を過ごすようになるかもしれない●そのような社会を実現するためには今の通信料金は高すぎるし、通信速度は遅すぎる。わずかな料金で市内電話は使い放題という米国などの欧米の先進国やアジアの一部の中進国に比べ、通信インフラで大きな遅れをとっているのが我が国の現状である。このことが要因のひとつとなりJapan bashingではなくJapan passingの時代に向かいつつある。日本の産業の競争力をつけるためにも、これから迎える高齢化社会の老人たち、すなわち、われわれの幸せのためにも、早急に手を打ってほしいものである。65才以上の人たちには通信料金無料というのはどうだろうか。(山下 勝比拡)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成8年3月号 第41巻 第3号 通巻423号

代表者 村井 勉

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円 (本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円 (税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337)、日経弘報社 (3563-2241) へ